



慎重な審議が行われた審議会＝鹿児島市の県庁で

九州縦貫自動車道と南九州西回り自動車道を連結し、地域相互の交流促進や交通拠点へのアクセス等の役割を担う目的地域高規格道路・北薩横断道路（起点溝辺町・終点野田町、L約70㎞）の一部を構成する紫尾道路（中屋敷IC～高尾野IC）が25日開通し、出水郡高尾野町で開通式典と通り初め式が行われ、県や沿線市町の行政機関、工事関係者ら約200人が参加して開通を祝った。

農林環境改善センターでの開通式典では、須賀龍郎県知事（代読）が「地域の産業、経済、文化の振興や地域の活性化に寄与することを期待している」と式辞を述べ、紫尾道路協賛会長の平原

紫尾道路開通式典

地域産業の振興に期待



開通を祝いテープカットを行う関係者
＝高尾野町の高尾野IC付近で

三男高尾野町長が「一部開通ではあるが今回の開通を足掛かりとして全線開通の早期実現に向けて頑張っていく」と挨拶。濱田行弘県出水土木事務所長の工事経過報告に続いて、来賓の渡邊茂樹九州地方整備局長（代読）や溝口宏二県議会議長（代読）らが祝辞を述べた。

式典終了後、高尾野ICに移動して渡り初め式が行われ、関係者らが紅白のテープにはさみを入れ、くす玉を割って開通を祝福。出席者らを乗せた車はパトロールカーとパトカーに先導されて中屋敷ICまで通り初めをした。

紫尾道路は、同町平八重から紫尾までの延長6.5kmの自動車専用道路で、平成7年4月に整備区間の指定を受けて工事着手。総事業費約17.3億円をかけて整備してきた。区間内には橋梁7橋（L83.4m）と高尾野トンネル（260.5m）があるが、当面は中屋敷IC～高尾野IC間約3.4kmにおいて幅員10.5mの暫定2車線での供用となる。なお、今回の開通は北薩横断道路の区間内では北薩空港道路（野坂IC～永野IC、L約6km）に次ぐ2番目の開通となる。

本県の監督処分は7件

宅地建物取引業審議会（山下正一郎会長）は25日、鹿児島市の県庁議会議室で14年度宅地建物取引業審議会を開き、宅地建物取引業者の監督処分及び現況などの審議がなされた。

同日は、山下正一郎氏を座長に審議に移り宅地建物取引業者の監督処分及び現況などの報告が行われた。この中で、事務局長から大臣許可や県知事許可を得た業者の報告がなされた。

県ビルリフォーム協組パト

県ビルリフォーム協組（大平重隆理事長）は18日、鹿児島市の県営緑ヶ丘住宅外壁改修現場の工事指導及び安全パトロールを大平理事長並びに役員6人で実施し、足場仮設のチェックや機械工具の点検、電気工具関係の適正使用及び住民対策や第三者災害への配慮を中心に細部にわたってチェックした結果、安全管理や安全対策が行き届いており、概ね良好と診断した。

県豊工業組合が講習会

検定試験へ向け6人参加

当日は、重大労働災害の防止に向けて各項目ごとに安全診断を行ったほか、工事指導では、打診による外壁の浮きやクラックの再チェック、左官コテの適正使用方法などを大平理事長らが丁寧に指導した。

大平理事長は「作業効率や技術力をレベルアップすることで、今まで以上の業界の活性化を期待して技術指導も実施したが、災害撲滅も含めて今後とも定期的に実施していきたい」と語った。

20周年記念サッカー大会

＝郡山町の総合グラウンドで

（例）裕成興業（佐藤裕利社長、本社・鹿児島市）は21、22日の両日、日置郡郡山町の総合グラウンドで「20周年記念・YOUSAYカップサッカー大会」を開き、中学校対抗（1、2年の部）で競技し熱戦を繰り広げた結果、2年の部で太陽スポーツクラブU-14と神村学園中等部が優勝を分け与えたほか、1年の部でディアマントF・Cが優勝した。

開会式では、佐藤社長に励まされ日頃の練習の成果をいかんなく発揮する

20周年記念サッカー大会

元気いっぱいプレー

大会として開催する同大会で「日頃の練習の成果を十分発揮し、けがのないように頑張ってください」と挨拶。このあと、1ブロック3チームに分かれ、試合を開始した。大会には、鹿児島市内に限らず、県内各地から出場。21日の初日は予選リーグ戦が行われ、23日は各パートごとのリーグに分かれ決勝トーナメントを行った。

試合では、家族の応援に励まされ日頃の練習の成果をいかんなく発揮する

20周年記念サッカー大会

＝郡山町の総合グラウンドで

（例）裕成興業（佐藤裕利社長、本社・鹿児島市）は21、22日の両日、日置郡郡山町の総合グラウンドで「20周年記念・YOUSAYカップサッカー大会」を開き、中学校対抗（1、2年の部）で競技し熱戦を繰り広げた結果、2年の部で太陽スポーツクラブU-14と神村学園中等部が優勝を分け与えたほか、1年の部でディアマントF・Cが優勝した。

開会式では、佐藤社長に励まされ日頃の練習の成果をいかんなく発揮する

20周年記念サッカー大会

＝郡山町の総合グラウンドで

（例）裕成興業（佐藤裕利社長、本社・鹿児島市）は21、22日の両日、日置郡郡山町の総合グラウンドで「20周年記念・YOUSAYカップサッカー大会」を開き、中学校対抗（1、2年の部）で競技し熱戦を繰り広げた結果、2年の部で太陽スポーツクラブU-14と神村学園中等部が優勝を分け与えたほか、1年の部でディアマントF・Cが優勝した。

開会式では、佐藤社長に励まされ日頃の練習の成果をいかんなく発揮する